

建築技術の総合情報誌

GBRC

2024.10(198) Vol.49 No.4

創立60周年記念号



GBRCへの期待

再生骨材コンクリートの普及活動に向けて

一般社団法人再生骨材コンクリート普及連絡協議会
会長 柴谷 啓一

再生骨材コンクリート普及連絡協議会 (ACRAC) は再生骨材コンクリートの利用促進に向けて、情報発信・調査・研究及び生産支援活動を12年間続けてきた一般社団法人です。

再生骨材の自主基準ではありますが品質監査制度を立ち上げており、ACRAC内部の委員会が監査・審議を行い、第三者機関で認証しています。

毎年開かれるACRAC技術認定講習会は、大学教授及び専門家による講演、会員・賛助会員が取り組んでいる事業の広報、新技術・実績の紹介などがあり再生骨材コンクリートの性能、製造及び社会的位置づけを理解するためのもので、会の終了後には懇親会があり会員及び関係者の情報交換の場にもなっています。

再生骨材に関する統計調査は、砕石等動態調査が2019年で終了し、2020年についてはACRACが再生砕石・再生骨材の製造について出荷量等を調査しました。

ACRACは主に再生骨材・再生骨材コンクリートの生産に係わる事業所の団体でしたが、利用側に位置する建設会社がこの団体に入会するようにもなりました。

それでも課題はまだ残っています。再生骨材コンクリートMを建築構造物に使えるようにするために建築基準法37条告示の1446号の改正、利用を拡大促進するためのグリーン購入法特定調達品目への認定、地方公共団体標準仕様書への記載等があります。去年は第3回JIS改正委員会にACRACから5名も参加させて頂きました。

創立以来法制・基準面の隘路打開と公共事業への利用促進に向けて奔走してきましたが、大きな目的はコンクリートからコンクリートへ完全リサイクルすることによって温室効果ガスの吸収固定による地球温暖化抑制、自然環境保護、土石資源枯渇防止など総合的な環境負荷低減への貢献です。我が国の共通目標であるSDGsにおいては、都市鉱山による地産地消、産業技術の革新、生産者拡大生産者責任 (EPR) など、幅広い目標に向けてコンクリートリサイクルを推進していきます。このためには、会員の拡大を図り、品質確保・安定のためにも、多くの会員の再生コンJIS認証取得が望まれるところであり、GBRC様にも期待するところであります。